

第15回小児がん拠点病院連絡協議会

小児がん緩和ケア体制について

余谷暢之

国立成育医療研究センター

総合診療部 緩和ケア科 小児がんセンターがん緩和ケア科

yotani-n@ncchd.go.jp



我が国における小児緩和ケア体制

- 2010年 小児医療に携わる医師のための緩和ケア研修会（CLIC）
- 2012年 第2期がん対策推進基本計画
緩和ケア診療加算、外来緩和ケア管理料に小児加算が追加
- 2013年 小児がん拠点病院選定
- 2017年 国立成育医療研究センターに緩和ケア科設置
- 2018年 緩和ケア診療加算が小児入院管理料の包括範囲外に
小児がん中央機関：小児緩和ケアチーム研修会開始

小児がん拠点病院

成人緩和ケアチームがある

9施設

- 北海道大学病院
- 東北大学病院
- 名古屋大学病院
- 三重大学病院
- 京都府立医科大学附属病院
- 京都大学附属病院
- 大阪市立総合医療センター
- 広島大学病院
- 九州大学病院

成人緩和ケアチームがない

6施設

- 国立成育医療研究センター
- 東京都立小児総合医療センター
- 埼玉県立小児医療センター
- 神奈川県立こども医療センター
- 静岡県立こども病院
- 兵庫県立こども病院

成人の緩和ケアチームがある施設

①緩和ケアチームが介入

→介入件数が少ない

②小児科医が緩和ケアチームに入りコラボレーション

→活動頻度が少ない

③小児緩和ケアチームを別途結成し活動

→緩和ケア専門医のコミットメントがない

小児科側の障壁

緩和ケアに対して家族が躊躇してしまう	43%
患者のニーズに合った緩和ケアサービスが周りにない	40%
緩和ケアチームに小児患者の緩和ケアに対する知識が不足していると感じる	40%
終末期の話題について話すことが難しい	30%

余谷暢之, 2018年度ホスピス緩和ケア研究振興財団報告書

緩和ケアチーム側の障壁

小児患者の緩和ケア介入の経験あり	45%
がん診療連携拠点病院緩和ケアチームの介入患者の中の小児患者割合	0.6%

Yotani N, et al. J Pain Symptom Manage 2018;56:582-587
2020年度 日本緩和医療学会 緩和ケアチーム登録

小児がん診療と緩和ケアチームの協働へ

- 日本緩和医療学会小児緩和ケアWPG

- 緩和ケアチームのための小児緩和ケア教育研修(CLIC-T) (2014-)

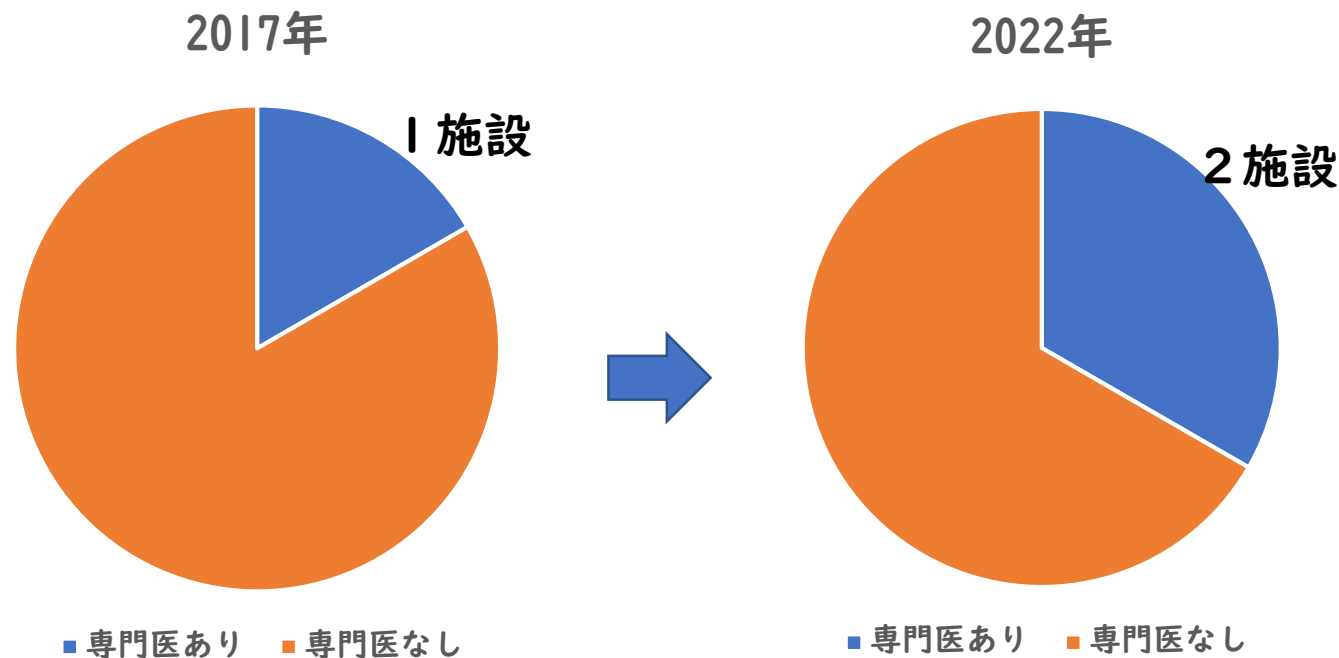
- 緩和ケアチームが小児患者に関わるためのハンドブック作成 (2021)

- 小児がん疼痛ガイドライン

- 小児がん中央機関

- 小児緩和ケアチーム研修会 (2018-)

成人緩和ケアチームがない施設 6施設

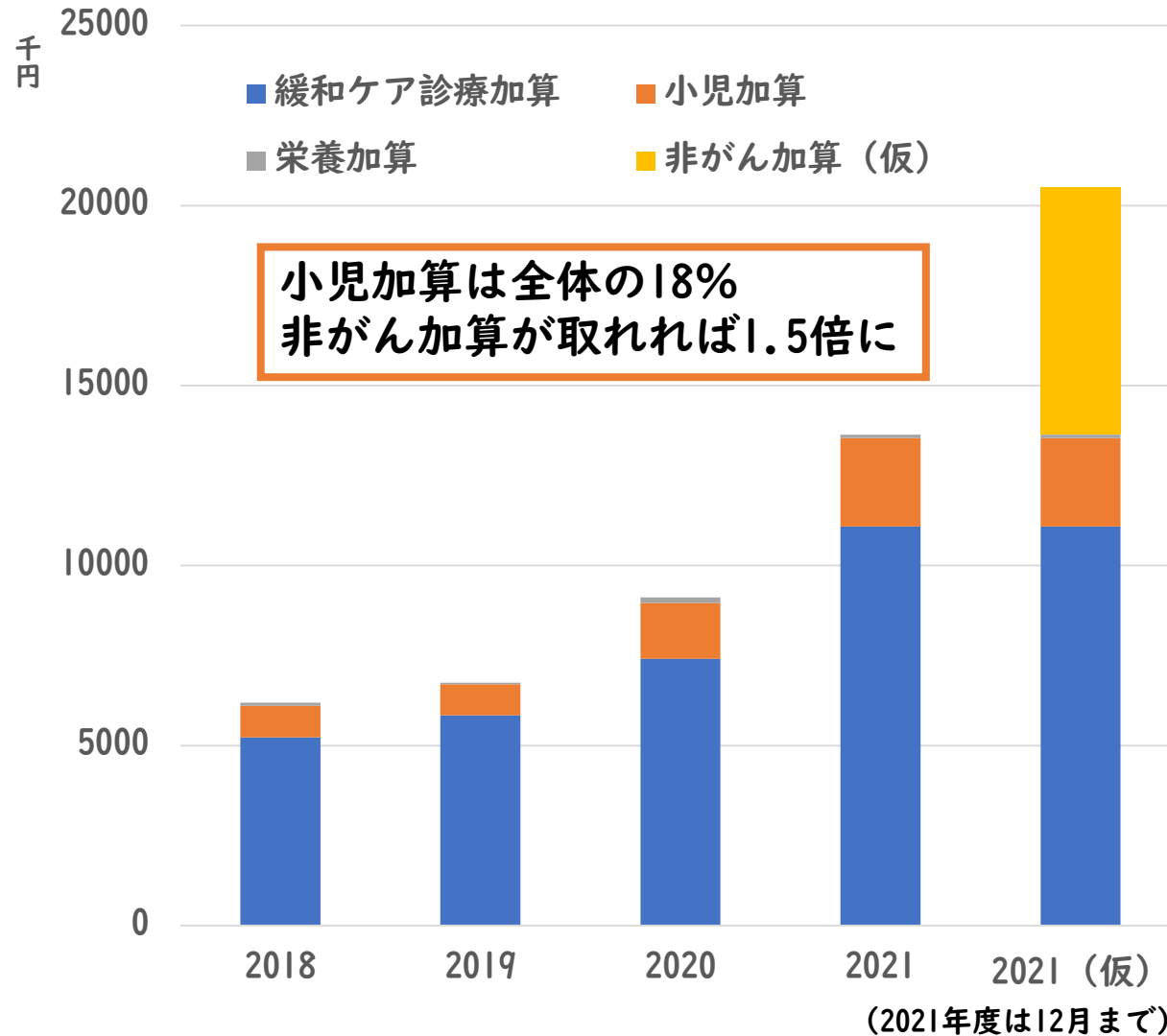


緩和ケア専門医が十分に配置されず
(2022年度現在2施設のみ)
専門的緩和ケアを届けるためには
専門医の存在は不可欠



- ・ 専門医育成の課題
- ・ 他施設の専門医との協働の可能性

小児緩和ケアチームの可能性



国立成育医療研究センター

項目別緩和ケアチーム加算金額推移

- ・ がん患者が介入患者の約50%
- ・ 非がんにも診療加算がつけば
小児緩和ケアの専門家常勤化の可能性

国立成育医療研究センターは

日本緩和医療学会専門医認定研修施設

人材育成の場に (現在1人が研修中)

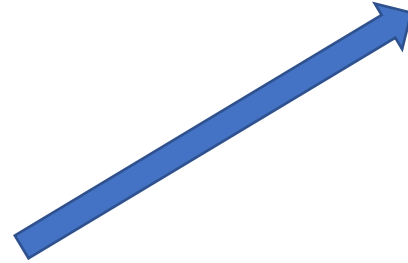
2022年4月から増員予定

Webを介した他チームの支援

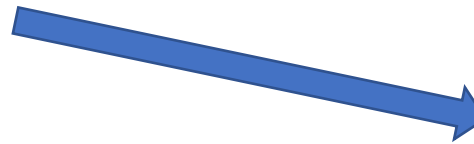
静岡県立こども病院



毎週の緩和ケアカンファレンスに
Webで参加し助言



隔月の緩和ケア症例検討会に
Webで参加し助言



都道府県がん診療連携拠点病院との連携



宮城県立こども病院



東北大学病院

小児がん中央機関

小児がん
診療チーム

小児緩和
ケアチーム

支援

支援

Step 1
他施設又は同施設の緩和ケア専門医が
専門医のいない施設を支援できる体制

大学病院

緩和ケア
チーム

小児がん
診療チーム

小児がん拠点病院（小児病院）

小児がん
診療チーム

小児緩和
ケアチーム

地域での 緩和ケア診療体制

都道府県がん診療連携拠点病院

緩和ケア
チーム

小児がん
診療チーム

支援

小児がん拠点病院（大学病院）

小児がん
診療チーム

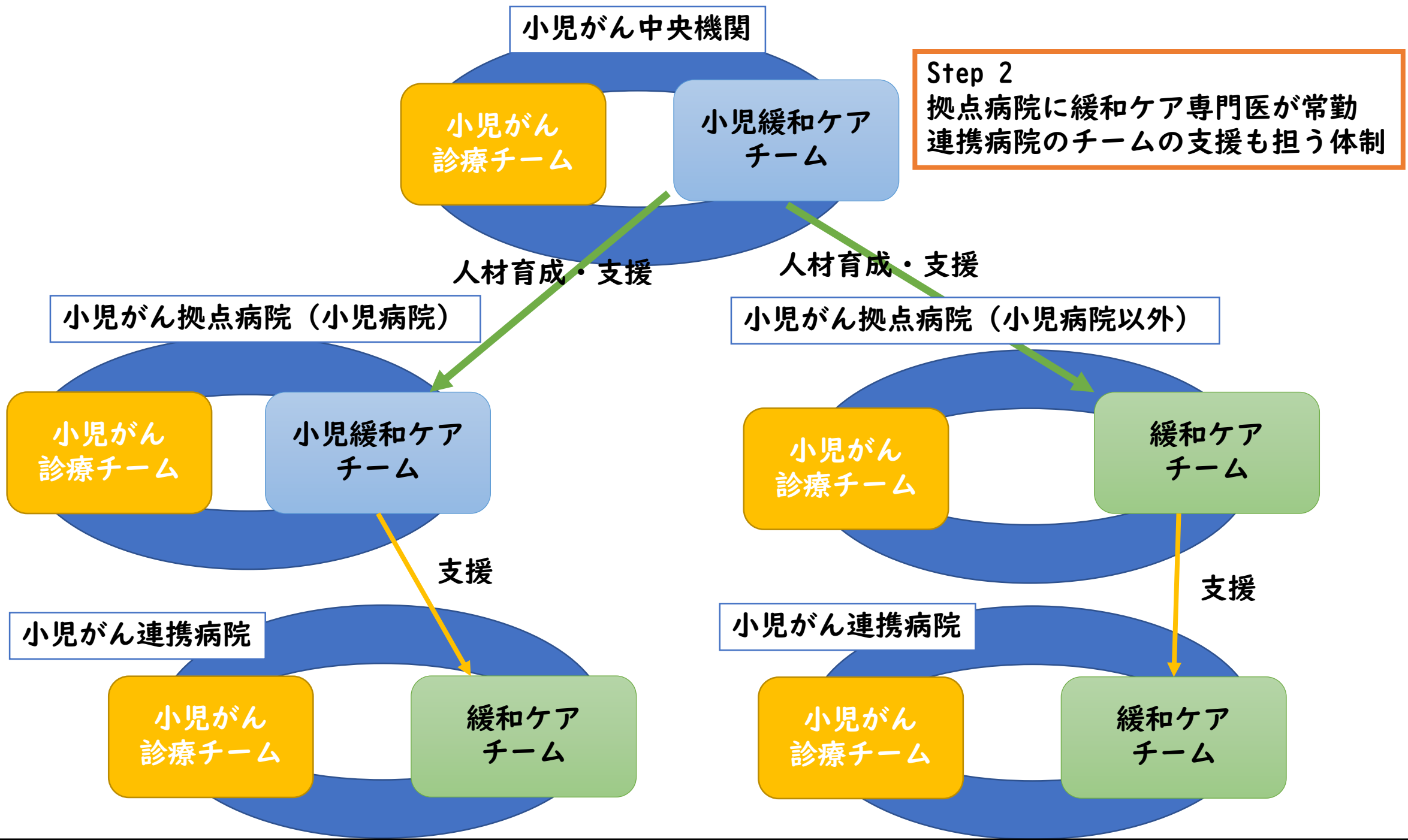
緩和ケア
チーム

小児緩和ケア
チーム

小児病院

小児がん
診療チーム

小児緩和
ケアチーム



今後の提案のための実態把握に向けて

- 15拠点の緩和ケアチームの年間の介入患者実態調査を検討
- ご協力いただけますと幸いです

